

平成29年度 事業報告書

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで



公益社団法人日本オリエンテーリング協会

[I] 法人の概要

当協会は、平成24年6月4日付けで公益社団法人の認定を受け、同日設立登記を行った。
この事業報告は、公益社団法人として第5期の事業報告となる。

1. 設立年月日

公益社団法人	平成24年6月4日
社団法人	平成3年4月26日
協会設立	平成2年7月

2. 定款に定める目的

この法人は、我が国におけるオリエンテーリングを統括し、代表する団体として、
オリエンテーリングの普及及び振興を図り、もってアウトドアスポーツの健全な発展に
貢献するとともに、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業

- (1) オリエンテーリングの普及及び指導に関する事業
- (2) オリエンテーリング競技会の開催及び公認に関する事業
- (3) オリエンテーリングの競技力向上に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 会員に関する事項

- (1) 会員数
正会員数 計37会員[36都道府県、日本学連]
- (2) 指導員・競技者登録・コントローラ登録数
ディレクタ1級指導員数 88名
ディレクタ2級指導員数 156名
インストラクタ指導員数 88名
競技者登録数 2,250名
IOFイベントアドバイザー 6名
コントローラ登録数(フット) 36名
准コントローラ登録数(フット) 0名
コントローラ登録数(トレイル) 11名

5. 都道府県のオリエンテーリングを統括する会員(平成29年度末現在)

北海道オリエンテーリング協会	堀井 学
岩手県オリエンテーリング協会	玉澤徳一郎
宮城県オリエンテーリング協会	岡本和広
秋田県オリエンテーリング協会	渡部直衛
福島県オリエンテーリング協会	加藤一郎
茨城県オリエンテーリング協会	狩野岳也
栃木県オリエンテーリング協会	岡崎良昭
群馬県オリエンテーリング協会	津金沢民男
(特非)埼玉県オリエンテーリング協会	福原正三
千葉県オリエンテーリング協会	倉田寛之
東京都オリエンテーリング協会	杉本光正
神奈川県オリエンテーリング協会	碓井 進
新潟県オリエンテーリング協会	目黒正文
石川県オリエンテーリング協会	不破大仁
福井県オリエンテーリング協会	相馬幸右衛門
山梨県オリエンテーリング協会	酒井 寛
長野県オリエンテーリング協会	美谷島孝
岐阜県オリエンテーリング協会	大場尊美
静岡県オリエンテーリング協会	谷野守右
(特非)愛知県オリエンテーリング協会	新帯 亮
三重県オリエンテーリング協会	前田亮一
滋賀県オリエンテーリング協会	古津和夫
京都府オリエンテーリング協会	古川勝美
大阪府オリエンテーリング協会	北川達也
兵庫県オリエンテーリング協会	尾上俊雄
奈良県オリエンテーリング協会	前田武志
和歌山県オリエンテーリング協会	山下直也
島根県オリエンテーリング協会	森山健一

岡山県オリエンテーリング協会	千田博通
広島県オリエンテーリング協会	伊東博司
山口県オリエンテーリング協会	渡邊正次
徳島県オリエンテーリング協会	林 和志
香川県オリエンテーリング協会	松井繁成
愛媛県オリエンテーリング協会	河野忠康
福岡県オリエンテーリング協会	品川秀昭
宮崎県オリエンテーリング協会	小八重善裕
日本学生オリエンテーリング連 加盟していない県	河合利幸
青森県、山形県、富山県、鳥取県、高知県	
長崎県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県	

6. 役員等に関する事項(平成29年度末現在) (理事括弧内はブロック選出区域等を表す)

会長	山西哲郎	
副会長	村越 真	
業務執行理事	藤井範久	[競技力担当]
業務執行理事	木村佳司	[普及担当]
業務執行理事	平島俊次	[技術担当]
業務執行理事(学識経験者)	大里真理子	
業務執行理事(東海B)	新帯 亮	
理事(北海道・東北B)	信原 靖	
理事(北関東B)	荻田育徳	
理事(首都圏B)	高野由紀	
理事(首都圏B)	奥田健史	
理事(北信越B)	藤島由宇	
理事(近畿B)	楠見耕介	
理事(中国・四国・九州B)	伊藤好信	
理事(学識経験者)	愛場庸雅	
理事(学識経験者)	茅野耕治	
理事(学識経験者)	羽鳥和重	
理事(学識経験者)	島津 弘	
理事(日本学連選出)	瀬川 出	
監事	齋藤和助	(税理士)
監事	尾上秀雄	
顧問	堀井 学	

7. 事務局に関する事項(平成29年度末現在)

臨時職員 6名

8. 社員総会、理事会等に関する事項

(1) 社員総会

日時	平成29年6月10日(土)	10:30-11:41
会場	東京海洋大学越中島校舎	
議題	審議事項	
	①平成28年度事業報告及び決算(案)	原案通り承認
	②理事及び監事の選任	原案通り承認
	退任/小泉知貴、新任/瀬川 出	日本学連幹事長交代のため
	退任/齋藤宏頭、新任/奥田健史	首都圏ブロック理事の交代のため
	③定款の一部変更 定款第21条、第35条、別表1の改訂	原案通り承認

理事会、業務執行理事連絡会

(2) 第14回理事会

日時	平成29年5月13日(土)	10:09-15:30
会場	東京都品川区「立正大学品川キャンパス」	
議題	審議事項	
	①平成28年度事業報告及び決算について	
	②監事より、会計監査と業務監査の報告がされた。	
	③基本財産の取扱に関する規程及び基本財産資金運用取扱に関する細則 資金運用に関する「第3項」を追加した。	
	④会員支援に関する規程について、支援金上乘せ対象から大学生以下を除外した。	
	⑤FISU2020Ski-0世界学生選手権への立候補を表明することにした。	
	⑥オフィシャルパートナー規程を制定した。	
	討議及び報告事項	

(3) 第15回理事会

日時 平成29年6月10日(土) 12:45-13:30
会場 東京都江東区 東京海洋大学越中島校舎
議題 審議事項

- ①理事役職の選任した。
- ②委員会委員長の選任と委員の承認をした。
- ③規程の承認をした。

討議及び報告事項

(4) 臨時書面理事会

書面送付 平成29年6月11日(日)
議決締切日 平成29年6月18日(日)
議題 審議事項

業務執行理事へ1名の追加推挙 理事数19名全員の賛成により承認された。

(5) 第16回理事会

日時 平成30年2月10日(土) 10:05-16:00
会場 東京都品川区「立正大学品川キャンパス」
議題 審議事項

- ①2018年度事業計画書及び収支予算書について
- ②特別会計「WMG2021費用準備金」の設置について
- ③謝金規程、競技規則類の改訂等について審議承認した。

討議及び報告事項

(4) 業務執行理事連絡会 (主たる協議事項)

- | | | |
|-----|---|------------|
| 第1回 | 平成29年4月27日(木) | スカイプ利用 |
| | ・事業報告、決算、理事、事業方針等 | |
| 第2回 | 平成29年7月31日(月) | スカイプ利用 |
| | ・業務の執行状況、指導者資格関係、アジア地区ミーティング、WMG2021関係等 | |
| 第3回 | 平成29年9月3日(日) | 東京海洋大学品川校舎 |
| | ・業務の執行状況、事務局報告、各委員会との質疑等 | |
| 第4回 | 平成30年1月25日(木) | スカイプ利用 |
| | ・事業計画・予算案等 | |
| 第5回 | 平成30年3月30日(金) | スカイプ利用 |
| | ・ジュニア委員会、AsJYOCについて | |

9. オフィシャル パートナー

森永乳業株式会社、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ
株式会社ノルディックスポーツ、株式会社リテラメッド
株式会社エバニュー、株式会社ゴールドウィン

〔Ⅱ〕平成29年度の事業

【公益目的事業1】

Ⅰ 普及指導関連事業

1. 関係諸機関等と連携を図り、普及発展に努めた。

1-1. 外部団体等の加盟、派遣

- ・国際オリエンテーリング連盟(IOF)に引き続き加盟をした。
- ・IOF総会・委員会に代表を派遣した。
- ・アジアワーキンググループミーティングに代表を派遣した。
- ・公益財団法人日本体育協会に引き続き加盟をした。
- ・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)に引き続き加盟をした。
- ・公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)に引き続き加盟した。
- ・野外活動団体協議会に引き続き加盟をした。

1-2. 活動が停滞している会員に対しての、会員支援策を制定した。平成29年度13会員から申請をうけた。

2. 普及教育委員会

2-1. 指導者養成、資格認定・登録

- ・ディレクター1級、2級の講習会を実施した。(10月7-8日:愛知県)
- ・ディレクター・インストラクターの資格審査、認定・登録を行った。

[D1-88名、D2-156名、In-88名(新規24名)、計332名]

2-2. ディレクター及びインストラクターに対しての情報提供として、ホームページ及びJOAニュースを2回発行した。

2-3. 指導員制度について、日本体育協会の公認スポーツ指導者への移行のための準備を進めている。

2-4. コースプランとリスクマネジメントについて研修を実施した。(7/1 愛知県、8/13 兵庫県)

2-5. 常設コース認定

- ・新規のパーマネントコースの登録はなかった。
- ・会員からの常設コース情報をWEBにて発信した。
- ・ネットプリント 現在47コースが稼働している。
- ・常設コースの新たな活用方法については検討されなかった。

2-6. 距離認定表彰

- ・100キロコンペ申請に対して走歩距離認定を行った。 [申請数184件]

2-7. 普及のための調査研究。

2-8. 民間企業からの受託事業の推進。

【公益目的事業2】

Ⅱ 競技関連事業

1. オリエンテーリング主催大会及び公認大会

1-1. 次の全日本大会を主催した。

6月18日	第43回全日本大会	栃木県矢板市	881名
10月1日	第6回全日本ミドルO大会兼京大京女O大会	三重県伊賀市	433名
11月4日	第13回全日本トレイルO大会	島根県出雲市	48名
11月25日	第10回全日本スプリントO大会	長野県大町市	210名
12月3日	第26回全日本リレーO大会	香川県まんのう町	428名
2月11日	第7回全日本スキーO大会(スプリント)	福島県	30名
3月18日	第6回全日本スキーO大会(ロング・リレー)	北海道留寿都村	37名

総計2,067名の参加を得た。

1-2. 次の大会の申請を受け公認した。

[フットO] カテゴリーA 該当無し

カテゴリーB

9月24日	パークOツアーin関西和歌山大会	和歌山県橋本市	55名
10月8日	青い森狼野長根2DAYS大会	青森県五所川原市	298名
11月5日	しまねミドル大会	島根県出雲市	89名
12月17日	京葉OLクラブ創立40周年記念大会	千葉県山武市	667名

総計1,904名の参加を得た。

カテゴリーS

9月17日	国営明石海峡公園二日間大会	兵庫県北区	台風のため中止
9月18日	国営明石海峡公園二日間大会	兵庫県淡路市	139名
10月7日	青い森狼野長根2DAYS大会	青森県五所川原市	266名
11月3日	しまねスプリント大会	島根県出雲市	50名

3月18日	パークOツアーin関西i2017滋賀大会	滋賀県守山市	146名
[トレイルO]	カテゴリT		
4月22日	城北中央公園大会	東京都練馬区	39名
7月30日	健康の森大会	愛知県	81名
11月3日	しまねトレイル大会	島根県出雲市	43名
3月4日	トレイルO静岡	静岡県袋井市	31名

1-3. その他の競技会を主催・共催した。
ナビゲーション・ゲームズシリーズ2017(27会場)

総計3,212名の参加を得た。
賛同する団体と共催 延3,212名

2. 競技者登録

- 29年度登録を実施し、登録者への情報提供を行った。(前年度対104%)
[男性1,667名、女性573名、計2,250名(内、学生 1,345名、U18/ 119名、U15/ 121名)]

【公益目的事業3】

Ⅲ 競技力向上事業

1. 選手・役員の派遣

- 6月25日-7月7日 WOC(世界選手権) エストニアへの選手・役員派遣を行った。
(役員 3名、選手12名)
 - 7月4日-17日 JWOC(ジュニア世界選手権) フィンランドへの選手・役員派遣を行った。
(役員 2名、選手 15名)
 - 7月25日-27日 WG(ワールドゲームズ) ポーランドへの選手派遣を行った。
(選手 1名)
 - 8月20日-24日 AsJYOC(アジアユース選手権) 中国への選手派遣を行った。
(役員 4名、選手 21名)
 - 9月30日-10月3日 WCup(ワールドカップ第1戦) スイスへの選手派遣を行った。
(選手 1名)
 - 8月25日-27日 WCup(ワールドカップ第3戦) ラトビアへの選手派遣を行った。
(選手 3名)
 - 8月23日-29日 WMOC(マスターズ世界選手権) ニュージーランドへの選手参加に協力した。
(選手 42名)
 - 7月10日-15日 WTOC(トレイルO世界選手権) リトアニアへの選手・役員派遣を行った。
(役員 2名、選手 8名)
 - 8月11日-28日 MTBOC(マウンテンバイクO世界選手権)リトアニアへの選手派遣を行った。
(役員 1名、選手 6名)
 - 2月21日-25日 世界学生スキーO選手権 エストニアへの選手・役員派遣を行った。
(役員 1名、選手 8名[M4,W4])
- ・平成29年6月10日、WOC,JWOC,WTOC代表選手団の壮行会を実施した。
 - ・平成29年11月25日、長野県大町商工会館において、WOC,JWOC,WTOC,WMTBOCの
合同報告会を実施した。

2. 強化委員会

- ・選手認定事業
WOC,JWOC,WG,AsJYOCに出場する選手を選考し、代表チームを編成した。また、WCupに出場する選手を認定した。
WOC,JWOC代表選手に対しては、平成29年6月10日開催の総会において認定状を渡した。
- ・強化指定選手の指定と強化合宿の開催
アドバンス登録選手制度により強化対象の競技者を把握し、その中からB強化選手、U-20強化選手、スプリント強化選手を認定した。
アドバンス登録選手を対象に、強化合宿5回実施した。
- 未実施の事項
事業計画にある「日本体育協会指導員制度の調査し、コーチ制度の制定設計の準備を行う」は、指導員の移行と併せて、別グループで検討を始めた。

3. スキーO委員会

- ・国際大会への参加 世界学生スキーオリエンテーリング選手権大会
- ・国内における普及活動
初心者講習会を開催した。(北海道、岩手、栃木、長野)
大会(全日本ロング、スプリント、ミドル、リレー)を開催した。
公益社団法人日本プロスキー教師協会(SIA)との共同事業を実施した。
- ・選手強化
強化合宿を4回実施した。
- ・その他
国際大会(2020年WUSOC)誘致を検討。結果として辞退した。

4. MTB-O委員会

- ・海外遠征でのトレーニング及びレース 2回22日。
- ・選考会3回
- ・国内合宿7回14日
- ・国内練習会12回
- ・国内オリエンテーリング大会でのイベント開催(ローラーチャレンジ)8回
- ・世界選手権大会報告1回

5. トレイルO委員会

- ・JOA主催大会の開催、公認大会の支援

第13回全日本トレイルO選手権大会を実施した。(島根県)

公認大会を4大会を後援した。

競技者ランキング制度については、ルール策定ができなかったため未実施。

- ・活動資金を取得するための活動について、情報収集するも獲得に至らなかった
- ・障害者への普及活動の促進のため、働きかけを継続しているが奏効しなかった。
- ・トレイルO普及員制度の見直しを検討を凶ったが、実施できなかった。
- ・トレイルOコントローラ研修会開催を企画したが、実施できなかった。
- ・トレイルO世界選手権へ選手、役員を派遣した。
- ・日本トレイルO競技規則の改訂作業を実施中。ガイドラインの見直しについては未実施。
- ・IOFに対して積極的に発信するとともに、諸外国と連絡を取り合い、情報の収集に取り組んだ。

6. アンチ・ドーピング委員会

- ・スポーツ振興くじ助成を受けてドーピング検査を実施した。年間12検体。
- ・WOC, JWOC強化合宿において講習会を実施した。
平成29年7月22日 ジュニア合宿 静岡県富士宮市
平成30年1月13日 スキーO初心者講習会 栃木県日光市
- ・JADAのアウトリーチ活動に協力し、公認大会等において教育ブースを開設した。
平成30年1月21日 ジュニアチャンピオン大会 東京都日の出町

7. 競技委員会

- ・電子メールにより随時かつ頻繁に実施。
- ・平成30年1月8日 東京海洋大学品川校舎
委員会を開催した。委員以外のオブザーザーも多数参加した。
- ・規程類の保守を行った。
競技関連規則集2017を発行した。
- ・コントローラ講習会を2会場に分けて実施した。25名の参加を得た。
平成29年 8月26-27日 滋賀県 参加者12名
平成29年11月18-19日 埼玉県 参加者24名
- ・公認大会の認可(12件)、コントローラの任命、Eクラス推薦の審査及び記録の認定を行った。
- ・年齢別ランキングを実施した。

8. 地図委員会

- ・ISOM2017の翻訳を行い、日本語訳版を発行した。
- ・ISOM2017に関する講習会を開催した。

9. 女性委員会

- ・平成29年5月13-14日 愛知県にてオリエンテーリング女性向けトレーニングキャンプ2017を実施した。
参加者(スタッフを含む) 25名
- ・平成29年9月13日 埼玉県にてTraining&Talk WOC女子選手と走ろう！話そう！イベントの実施した。
参加者(選手、スタッフを含む) 32名

10. 国際委員会

- ・外務省スポーツ外交推進事業でシンガポールからオリエンテーリングの選手を招聘した。
11月20日から29日まで 東京都、山梨県、長野県
- ・IOFの専門委員会委員として活動した。
Trail O Commission 1名
- ・Sport for Tomorrowコンソーシアムに参加した。

11. 日本スポーツ振興基金助成金及びスポーツ団体スポーツ活動助成(くじ)報告

スポーツ団体選手強化活動	交付決定額	計
①スキーO世界学生選手権へのチーム派遣	800,000	
②フットOジュニア世界選手権へのチーム派遣	400,000	
③MTB-O世界選手権チーム派遣	800,000	
④フットO世界選手権へのチーム派遣	400,000	
⑤トレイルO世界選手権へのチーム派遣	600,000	3,000,000
スポーツ団体大会開催助成	交付決定額	計
①全日本スキーオリエンテーリング選手権大会(スプリント)	1,200,000	
②全日本スキーオリエンテーリング選手権大会(リレー、ミドル)	1,200,000	2,400,000
スポーツ団体スポーツ活動助成(くじ)	交付決定額	計
①全日本リレーオリエンテーリング大会	800,000	
②スキーオリエンテーリング初心者講習会	1,576,000	
③スキーオリエンテーリング指導者講習会	1,664,000	
④ドーピング検査推進事業	2,561,000	6,601,000
	合計	

- ・世界選手権等への派遣・強化活動事業を日本スポーツ振興センターの助成申請を行い実施した。
- ・平成29年度日本スポーツ振興基金の助成金は以上のように決定し活動を行った。

【その他】

1. 法人部門

公益法人化に伴い、事務の簡素化を行い、事務部門の規程類についても順次見直しを進めている。

2. 総務委員会

- ・JOAニュースを年2回発行した。
- ・世界選手権出場選手に関する情報を、会員にWEB等で発信、行政・報道等に郵送にて行った。
- ・オリエンテーリング年鑑(2016年版)を配布した。
- ・JOA-WEbは、事務局にて随時行った。
Face book継続的に発信され、社会人を中心として学生にも到達した。お知らせをプッシュ型で即時配信できた。
TwitterもFace bookと同様に効果が出てきた。
- ・都道府県協会へ都道府県体育協会への加盟を働きかけたが、出来なかった。今後も推進を図る。
- ・会員向けメールマガジン「理事会・事務局便り」を、3号(2017.5)から、8号(2018.3)までの6巻を発行した。

3. 寄附金募集事業活動

募金維持等

- ・29年度「税額控除に係わる申請」を行い認定された[認可日:府益担第1377号/平成29年11月20日]
[有効期間:平成29年11月20日-平成34年11月19日]
- ・平成29年度(4月-3月) 寄附金総額4,828,634円となった。
- ・寄附者一覧(敬称略、順不同)

(株)リテラメッド、(特非)愛知県OL協会、滋賀県OL協会、(特非)トレイルO協会

(株)アークコミュニケーションズ

俵田正也	伊藤好信	今関朝樹	上島通浩	上島乃英	植松裕子	浦瀬太郎・香子
榎本正男	平島俊次	岡野英雄	尾上俊雄	小野盛光	小畑 睦	鹿嶋田真理子
加藤昭治	加藤高男	木村佳司	小橋至	酒井佳子	菅原春巳	佐々木はるみ
高野由紀	高橋 厚	高橋明美	高橋義人	棚橋是之	筒井通子	西田伸一・智代美
寺嶋一樹	七宮勝弘	日向 繁	藤井範久	古津和夫	宮林 修	牧ヶ野敏明
孫田三郎	孫田照子	伊藤伸悟	伊藤聡史	山口敏夫	小幡昭次	新垣和信
中村 憲	土屋晴彦	浜田康宏	大塚校市・ふみ子			

4. 表彰に関する事項

平成29年12月2日全日本リレー大会開会式時に表彰(敬称略)

渡邊正次、吉村三嗣(以上、山口県協会)、植田昌史(香川県協会長)、小島 裕(大阪府協会)
尾上俊雄(兵庫県協会)

5. 財政基盤の強化、再建化及び活性化

- ・会員支援制度により、13の会員を支援した。
また、同制度により公認大会から、17件、総額1,390,300円の支援があった。
- ・対話集会を開催した。
平成29年6月17日 全日本大会前日フォーラム内にて開催した。
平成29年12月2日 全日本リレー大会開会式式場にて開催した。

6. アウトドアスポーツの健全な発展に貢献する事業

- ・平成29年8月11-12日 ナヴィゲーションインストラクター制度のための研修会を実施した。(埼玉県)
また、認定制度を静岡大学村越研究室の協力により進めた。
- ・平成29年9月10日 日本体育学会ランチョンセミナーにおいて、キャンパスでできるオリエンテーリングの講演を行った。(講師:松澤俊行氏)

附則

略称に関する注釈

IOf	国際オリエンテーリング連盟	WMTBOC	マウンテンバイク0世界選手権
WOC	世界選手権 (フット0)	WSOC	スキー0世界選手権
JWOC	ジュニア世界選手権 (フット0)	JWSOC	ジュニアスキー0世界選手権
W-Cup	ワールドカップ (フット0)	EYOC	ヨーロッパユーススキー0選手権
WMOC	マスターズ世界選手権 (フット0)	WUOC	世界学生O選手権
AsOC	アジア選手権 (フット0)	WUSOC	世界学生SKI-0選手権
AsJYOC	アジアユース選手権(フット0)	JOC	日本オリンピック委員会
WMG	ワールドマスターゲームズ	JISS	日本スポーツ振興センター
WTOC	トレイル0世界選手権		